

平成27年度 事業報告

1. 文化創造事業

文化創造事業については、市民の運営を基本とするアトリエ設置条例に基づき、文化芸術で歓びと希望を感じるまちづくりを理念に事業活動を行ってきた。

事業実施に当たっては「プラン推進会議」で計画を共有し、「ひとづくり」「魅力づくり」「芽づくり」「まちづくり」の各事業をディレクター、スタッフが協調して行った。

事業を通じ、アミーゴの施設は個性があり、他の施設では味わえない、愛着の持てる施設であることが実感できた。同時に文化施設の存在意義は、事業参加者とのコミュニケーションを通して地域に支持されることが重要であることも認識できた。本年度、コンサートが一つ出演者の体調不良で中止となった。公演は様々なリスクが伴うので、今後の課題としたい。

事業別については下記のとおりである。

[指定管理における文化創造事業]

- ① 「ひとづくり」事業では、文化芸術に関心を持つ方、それを支えるスタッフなどを積極的に育てていく企画を行っている。「アート倶楽部」では、アートに関する歴史や鑑賞法などを学ぶという企画で、本年は「モダン&レトロたてもの」をテーマに実施した。その他、将来のディレクター候補の発掘と育成、公演などに当たって案内や誘導、終演後の撤収など運営に関わるスタッフの育成を行った。
- ② 「魅力づくり」事業では、「のこぎり屋根の音楽会～アタヌンコンサート～」で気軽な音楽機会を提供し、「アミーゴライブ」「狂言会」「落語会」「清元と日本舞踊」「バースデーライブ」など上質な文化芸術を鑑賞する機会を提供してきた。サロン洋を活用した「アートサロン展」は5回開催した。地域産業である染織体験工房も継続して実施した。魅力あるアミーゴ、入間をアピールすることができた。
- ③ 「芽づくり」事業では、「ドラマ工房」「オペラ工房」「アート事業」などを実施した。「ドラマ工房」は、公募市民で作る「劇団アミーゴ」の稽古を通し、本公演2回と国際交流協会総会や中学生の授業の一環で10minシアターの公演を行った。「オペラ工房」では、公募の市民オペラ合唱団が練習と成果発表を行ったほか、プロのソリストによるオペラ・ガラコンサートに参加するなど年間を通して活動した。「アート事業」では、大人対象の「アート講座」、子ども対象の「遊び場アートスタジオ」を実施した。
- ④ 「まちづくり」事業では、文化芸術を通じた地域との関係づくりを重視して「アートの春フェス」「夏フェスタ」「クラフトフェア」を開催した。特に、「クラフトフェア」では、地域の中のアミーゴをアピールすることができ、多くの方の来場があり成果があった。「春フェス」は2度目の取り組みで、プロのアーティストがホールや館庭を利用し展示とワークショップを行い、小雨の中アミーゴの春をアートで楽しんだ。
その他、法人独自事業であるが、アウトリーチ事業として「狂言・落語の学校古典芸能鑑賞会」「公民館落語会」などを行った。例年、多くの要望があり、アミーゴで培った事業ノウハウを他施設に提供することができた。

[法人独自の文化創造事業]

指定管理業務である文化創造事業のほか、長年培った事業ノウハウをもって、多くのNPO法人独自の事業を行った。学校、子ども対象に「学校古典芸能鑑賞会(狂言・箏/尺八)」、子どもゆめ基金の助成を受けた「アミーゴ!ハロウィン」、県の文化振興基金の助成を受けた「打楽器WS&コンサート」、地域の中学校の授業の一環として劇団アミーゴとともに「織物とアミーゴの歴史」の学習会を行った。

本年度は、2つの助成金を得て子ども対象の事業が充実して行うことができた。

また、「公民館」などへのアウトリーチ事業、西武5区の敬老会の支援などを行った。

西武鉄道のウォーキングと協力して館庭での飲食、音楽パフォーマンスのサービスや写真展など施設紹介を行ったのをはじめ、公演時に販売コーナーを設けるなど新たに「賑わい創出事業」として、交流、憩いの場を創る事業を行った。

2. 文化創造アトリエ施設管理事業（指定管理事業）

- ① 市民ニーズに対応した窓口サービスを心がけ、利用率の向上に努めた。

※施設の利用状況は別紙

本年度は、スタジオが2ヶ月間工事のため利用できなかった。利用度が高い施設のため多くの利用者にご迷惑をかけた。

- ② 来館者、利用者の安心安全の確保とアメニティー空間を確保するため、施設の修繕、備品の補充に努めた。

3. 各種会議などの開催報告

※別紙にて報告。

※通常の会議の他、本年度はアミーゴ事業の中長期計画を考える討議会議を開催した。
(役員、ディレクター、サブディレクター、評議員22名参加) (7/16㊦)

4. その他活動報告

- ① 会員交流会の開催

・5/19(火) 総会終了後に開催。事業のプレゼンテーションを行った。

- ② アミーゴ開館15周年記念祝賀会を開催した。(2/6㊦)
- ③ 地域創造研修会へ9名の理事監事・事務局が参加した。(8/4~6)
- ④ 広報紙「赤いのこぎり屋根」を5回発行した。
- ⑤ 熊谷(片倉シルク記念館)、深谷(七ツ梅酒造跡地活用他)へスタッフ研修会を実施した。(9/10㊦)
- ⑥ 館庭美化のため、ガーデンボランティアによる除草作業を春から秋にかけて月2回程度行った。(ガーデンボランティア活動は別紙)
- ⑦ 希望する団体などに施設及び運営の説明を行った。(詳細は別紙)